

働き方改革等に関する実態調査 vol.3

令和6年9月12日

公益社団法人秋田県トラック協会

1. 調査の目的・経緯

労働条件の向上等を図る働き方改革の一環として、令和6年4月より、トラック運転者について時間外労働の上限規制（年960時間）が適用されたとともに、改善基準告示に定められている拘束時間等の基準も改正された。

法改正から約5か月経った今、会員事業者の現状を把握し今後の協会運営に反映させるためアンケートを実施したものである。

2. 調査実施期間

令和6年8月29日～9月10日

3. 調査対象・実施方法

【対 象】（公社）秋田県トラック協会の全会員事業者
（霊柩部会員を除く）

【実施方法】FAX

4. 回収率

調査票送付数	回答数	回答率
361社	219社	60.7%

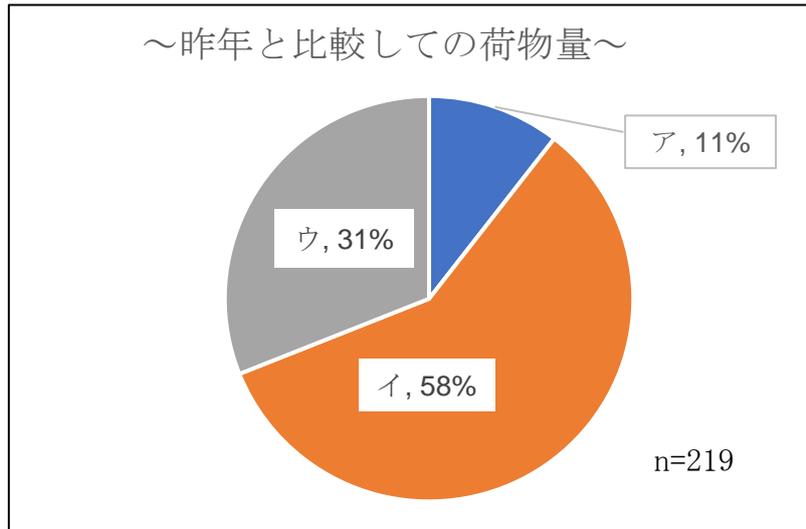
5. 調査内容・結果

【1. ドライバーの働き方改革等への対応についてお聞きします。】

- ① 2024年問題によりトラック輸送力の低下が危惧されており、物流の安定供給が不安定になると言われていますが、昨年と比べて荷物量（仕事量）はどう変化していますか？

以下の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。

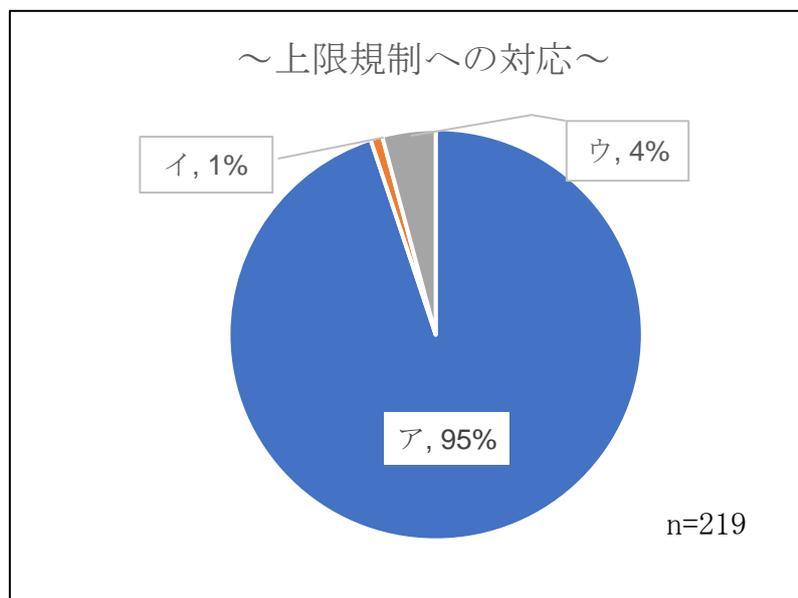
ア:増えた イ:変わらない ウ:減った



- ② 本年4月から、ドライバーへの働き方改革関連法が適用されています。年間時間外労働960時間には対応できそうでしょうか？

以下の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。また、「イ：対応不可能」、「ウ：現時点では判断できない」と回答した方は、その理由もご記入ください。

ア:対応可能 イ:対応不可能 ウ:現時点では判断できない

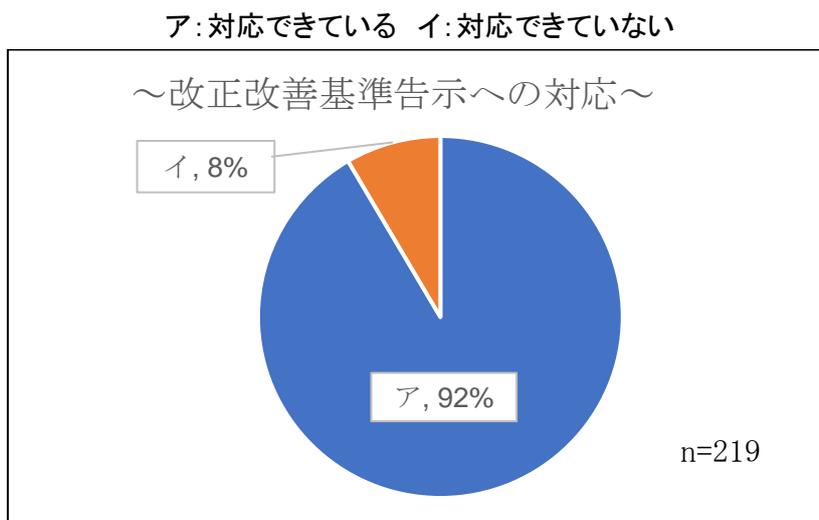


「イ：対応不可能」「ウ：現時点では判断できない」回答

- ・冬季を控えているため判断できない
- ・運転手が減ったが補充できていない
- ・仕事量が増えている
- ・労働時間削減に取り組んでいるが効果が出ていない
- ・これから繁忙期に入るとどうなるか分からない

③ 本年4月から、改正改善基準告示が適用されました。改正改善基準告示には対応できていますか？

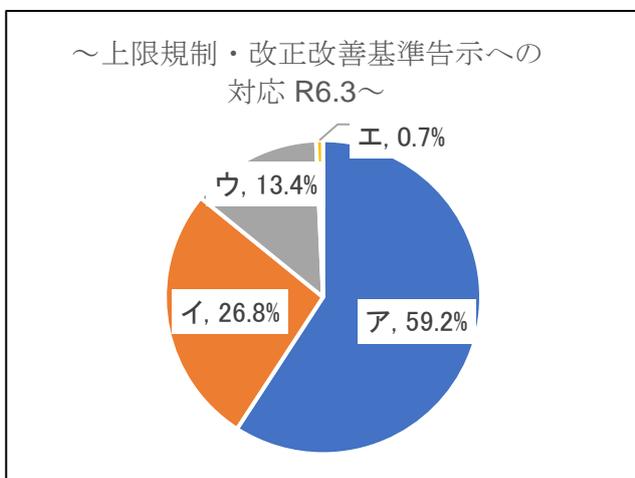
次の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。また、「イ：対応できていない」と回答した方は、改善基準告示のどの事項に対応できていないかご記入ください。



「イ：対応できていない」回答

- ・荷待ち時間が改善されず休息が十分に取れない
- ・現場が遠い為連続運転時間が守れない
- ・元請から指示される作業量が多すぎる
- ・配達の件数や荷受先の都合次第
- ・全てではないが、常に連続運転時間を4時間以内におさえるのは難しい

※②・③の前回調査時(3月)との比較



↑ 3月時点での対応状況

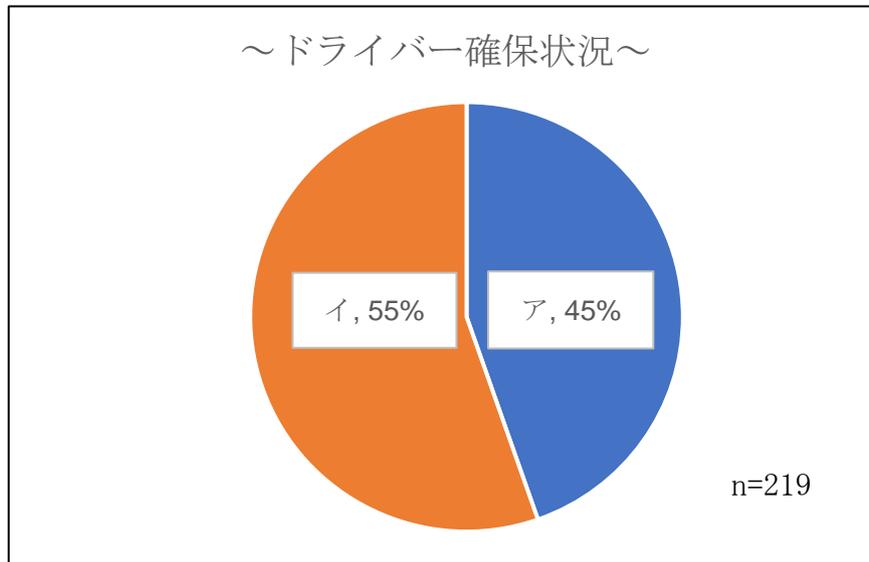
・今年3月に同じ質問内容で調査した結果では、約6割の会員事業者が「ア：対応済」と回答し、残りを「イ：4月までに対応可能」「ウ：検討中」「エ：対応不可能」と回答した。

・今回の結果と比較すると、アとイの回答者は勿論、ウの検討中と答えていた事業者のおよそ半数も現在は既に対応済であることが予想されるものの、一部事業者はいまだにこれらの変更に対応しきれていない状況である。

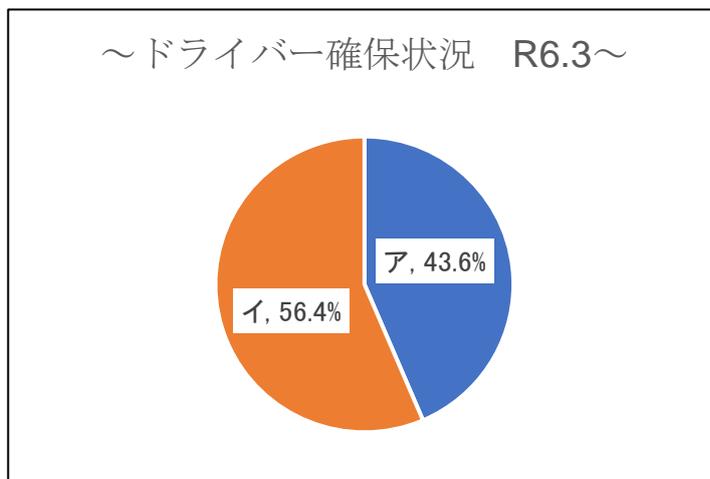
④ 働き方改革等への対応については、労働力を確保することが必要です。ドライバーの労働力は足りていますか？

次の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。

ア : 足りている イ : 不足している



※④の前回調査時（3月）との比較



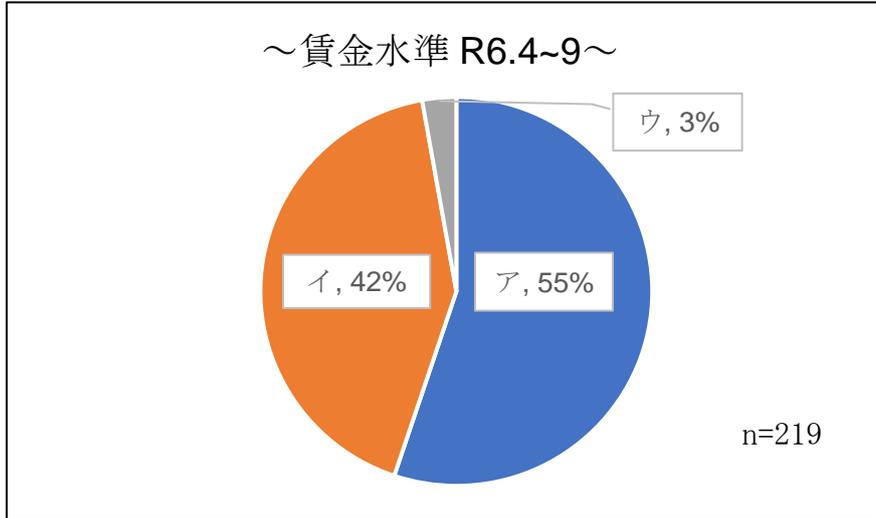
↑ 3月時点での状況

・今年3月の調査結果と比較しても、数字はほとんど変わらず、半数以上の事業者が今現在も人材不足に悩んでいることがわかる。

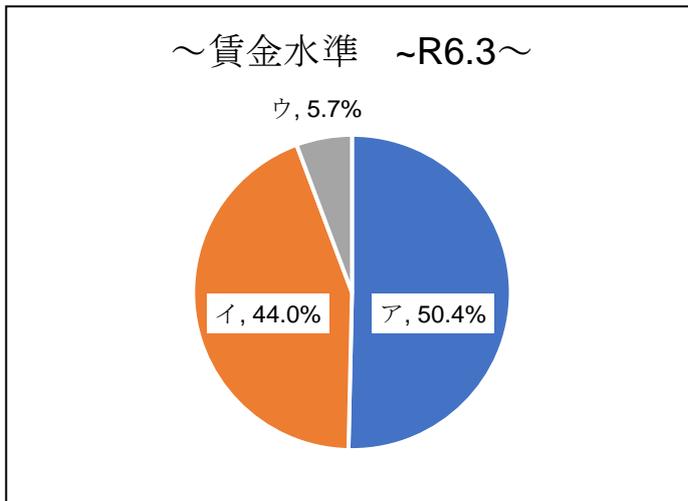
⑤ 働き方改革等への対応については、労働環境を改善することが必要です。4月から現在までドライバーの賃金水準はどのようになりましたか？

以下の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。

ア:賃金が上がった イ:変わらない ウ:賃金が下がった



※⑤の前回調査時（3月）との比較



・半数以上の事業者が、4月から現在までにドライバーの賃金を上げている。前回の調査結果より、3月以前にも半数の事業者が賃金を上げている為、ドライバーの賃金が見直されている傾向にあるといえる。(※あくまで前回の調査は今年の3月までの数年間に賃金を上げたかどうかで、今回の調査は4月から9月までに賃金を上げたかどうかの為、これらの直接的な比較はできない。)

↑ 3月までの状況

⑥ 貴社における働き方改革や輸送効率化への取り組み事例、または取り組んでみたい事項があれば下記に記入してください。

- ・待機時間料の請求
- ・ドライバーの労働環境や待遇の向上
- ・配送コースの見直し
- ・DX化の推進
- ・共同配送
- ・中継による労働時間の短縮
- ・早出、残業を基本しない方針に進めている
- ・可能な場合出発前日に積み置きしておく
- ・荷積、荷卸、荷待の削減の依頼を荷主にしている
- ・全線高速利用
- ・往復便の確保
- ・完全週休制の実施

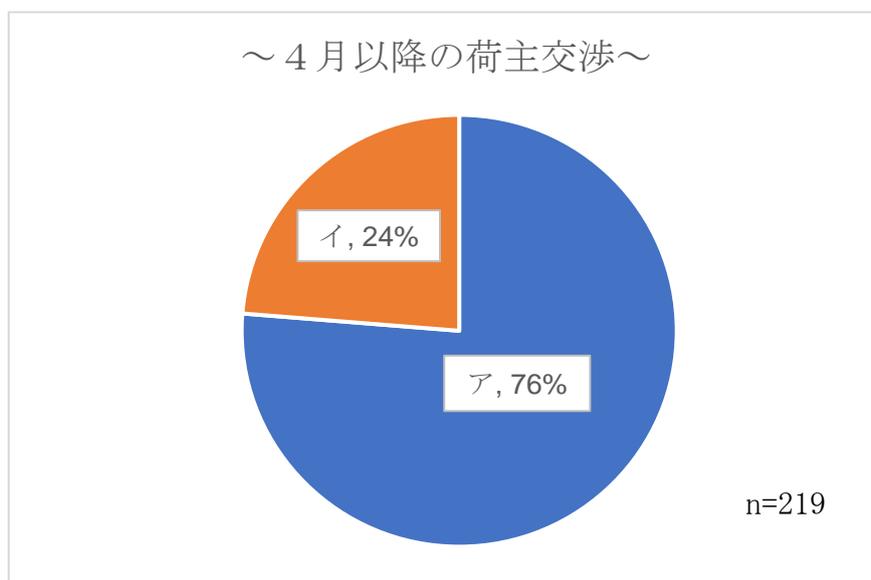
【2. 荷主（元請）との交渉等についてお聞きします。】

① 2024年問題等の解決に向け、運賃の値上げや料金の収受、待機時間の削減など、荷主（元請）に対する交渉は本年4月から現在まで行いましたか？

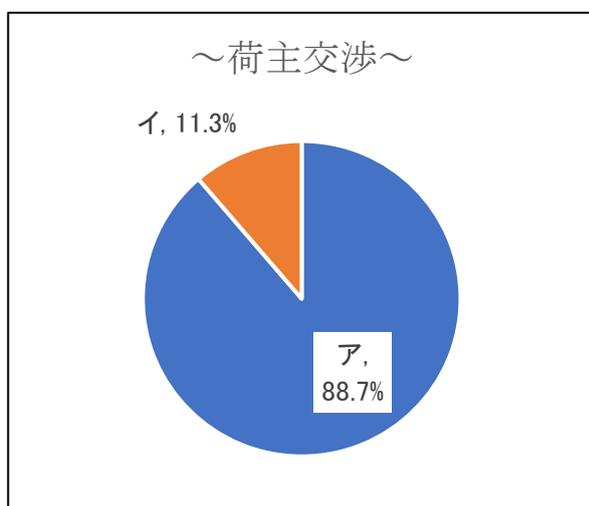
以下の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。

ア：交渉した

イ：交渉していない



※2-①の前回調査時（3月）との比較



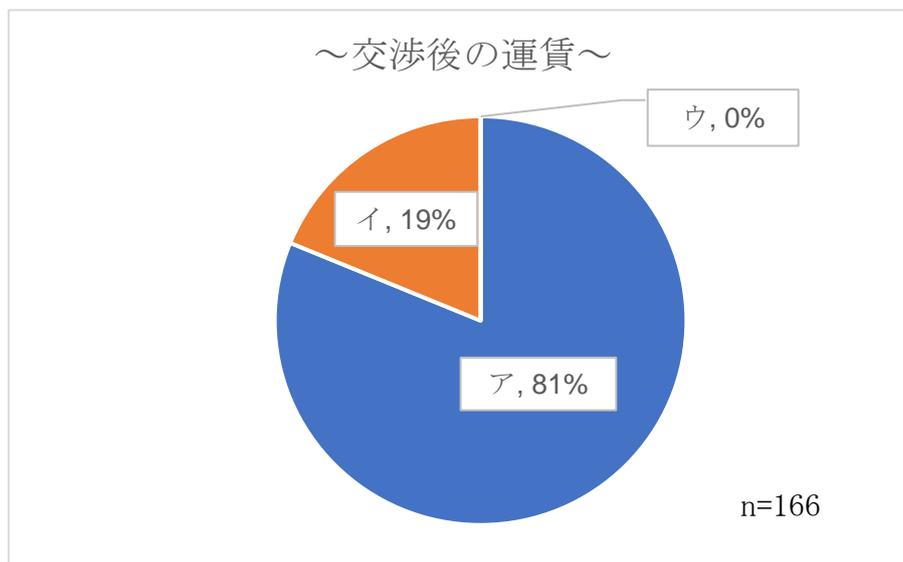
↑ 3月までの状況

- ・ 3月の調査時までにおよそ9割の事業者が荷主と既に交渉していたが、4月以降にも8割近い事業者が交渉を続けている為、多くの事業者が望んだとおりの交渉結果を未だに得られていないことが予想される。
- ・ 交渉をしていない事業者は必ずしも現状に満足している事業者だけではなく、交渉をすることで反感を買い荷主に契約を切られるといった恐れから動いていない事業者も一定数あると予想される。

② 前項①で、「ア：交渉した」とお答えした方にお伺い致します。過去のアンケートの結果では、荷主交渉の中で一番求めているものは「運賃の値上げ」でした。交渉の末、運賃はどうなりましたか？

以下の項目から該当する1つを選んで○印で囲み、運賃が上がった場合は空欄に数字を記入してください。

ア:上がった イ:変化なし ウ:下がった



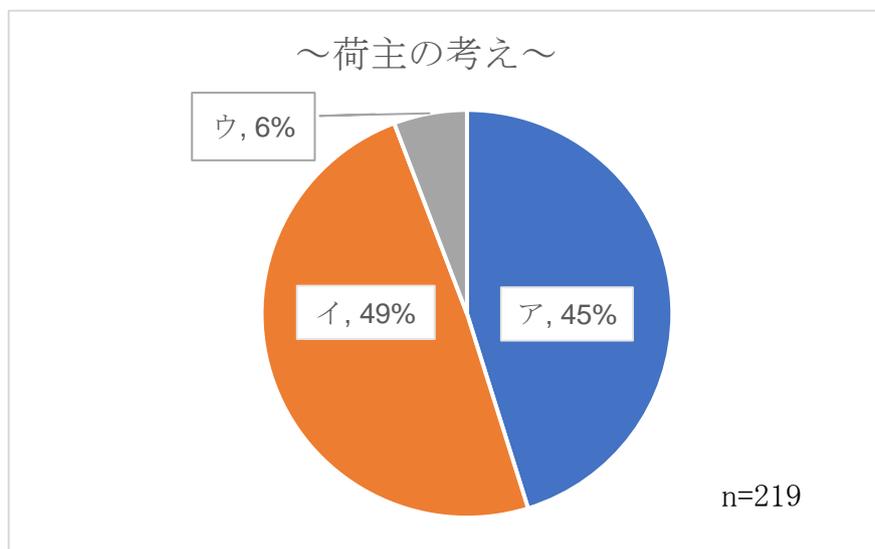
「ア：上がった」と回答した事業者の運賃値上げ率(134社中)

最大値上げ率の平均	14.5%	平均値上げ率	9.0%
-----------	-------	--------	------

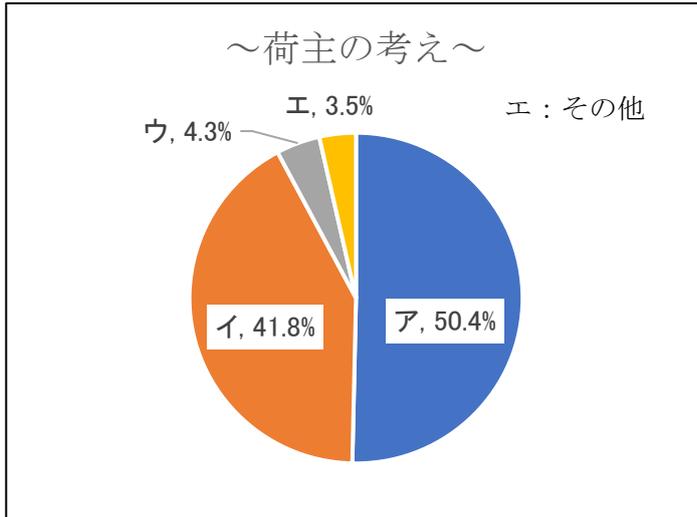
③ 2024年問題について荷主はどういった考えを持っていますか？

以下の項目から該当する1つを選んで○印で囲んでください。

ア:危機感を持っている イ:あまり危機感を持っていない ウ:全く危機感を持っていない



※2-③の前回調査時（3月）との比較



↑ 3月までの状況

・若干ではあるが、前回より荷主が危機感を持ってきているという回答が減っている。交渉が容易に受け入れられないことなどを理由に事業者が荷主への不満をより一層抱えていると予想される。

- ④ 秋田支部では「2024 改革委員会」を立ち上げ、本アンケート結果を基に支部会員事業者が抱えている諸課題の掘り起こしとその検討を行うこととしております。「2024 改革委員会」で検討してほしい事項がありましたらご記入下さい。

- ・若年層に向けたドライバー職の魅力や将来性を広く啓蒙する活動
- ・採用難を克服した会社や事業者の取組などを知りたい。
- ・高速道路早期全線開通への働きかけ
- ・契約にない付帯作業をさせる配達先に止めるよう、働きかけを強化してほしい、労基の方は実際に動いてくれた。
- ・高速料金について
- ・燃料価格高騰対策として自治体の補助及び運転士採用合同説明会なども開催してほしい。
- ・若年人材の確保
- ・中小企業では、元請からの無理な依頼も簡単に断ることができず引き受けるしかない。元請や荷主にもっとわかりやすく周知してほしい。
- ・運送業者全体で荷主への要求を行えるよう、秋田支部の働きかけを強化してほしい。
- ・ドライバー不足、高齢化
- ・直接荷主に交渉できないような、いわゆる運送会社からのもらい仕事の場合、荷主が賃上げに応じない等の理由で誤魔化され、唯一運賃交渉が難航する。
- ・人材不足の解決方法

